

令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

社会福祉法人 上里町社会福祉協議会

令和3年度社会福祉法人上里町社会福祉協議会事業報告

第1 令和3年度事業の概要

少子高齢社会が進展し、核家族化、単身世帯の増加が進行する中、住民が抱える課題は様々であり、福祉に対するニーズは増大するとともに複雑化かつ多様化している。

コロナ禍によって、社会的孤立や生活困窮などの福祉課題が急速に深刻化しており、令和3年度は、町民の安心した生活を支えるため、こうした課題への迅速な対応とともに、既存の福祉制度での対応が難しい、制度の狭間の福祉課題へも対応するなど、本会の特性を活かした事業推進に努めた。

多様な福祉ニーズに包括的に対応していく「断らない相談支援」を目指して、関係機関や団体と連携しながら支援を行った。

また、地域住民等の主体的な取り組みと協働しながら、地域の福祉力を高め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすための「地域共生社会」を構築するため、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら、各種福祉事業を推進した。

第2 重点項目

1 相談支援事業の推進

生活困窮者に対し、分野を問わない包括的な相談支援を実施し、複合・複雑化する支援ニーズや制度の狭間の問題等に対応するための取り組みを推進した。

介護、障害、子ども、生活困窮等の相談支援に係る事業を一体として、支援関係者間の連携・調整を強化し、併せて継続的な伴走支援を担う機能強化を図った。

2 小地域福祉活動の推進

ひとりひとりが地域の中で暮らし続けられるように、住民同士の顔が見える関係を目指して地域課題を把握し、関係機関と連携しながら、地域住民の参加を主体とした支え合いのしくみづくりを推進した。

また、福祉活動が地域における多世代の交流や多様な活躍の場となるよう、各種事業を推進した。

3 ボランティアセンターの機能強化

子どもたちに福祉の「種」を芽生えさせる福祉教育や、小・中学生を対象にしたボランティアスクール、町民全体を対象とした各種福祉講座等を開催し、町民同士が支え合う福祉の心が育まれる取り組みに注力した。

また、いつ発生するか分からない災害に備えるため、災害時の対応を想定した、災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練を実施した。

第3 実施事業

(1) 法人運営事業

ア 会務の運営

名 称	開催年月日	内 容
理事会	3年5月25日	職員就業規則の変更について 常勤嘱託職員就業規則の制定について 非常勤職員就業規則の制定について 給与規程の変更について 事務局規則の変更について 評議員選任・解任委員会の開催について 評議員の推薦について 評議員会の開催について 令和2年度事業報告について 令和2年度収入支出決算について 役員を選出について
	3年6月23日	会長、副会長、常務理事の選定について 評議員選任・解任委員の選任について
	3年11月19日	居宅ヘルパーステーション運営規程の変更 居宅介護支援センター運営規程の変更について 令和3年度収入支出補正予算について 評議員会の開催について
	4月3月22日 (書面)	登録ホームヘルパー就業規則の変更について 役員等賠償責任保険の契約について 令和3年度収入支出補正予算について 令和4年度事業計画について 令和4年度収入支出予算について 評議員への提案方法について
評議員会	3年6月22日	職員就業規則の変更について 常勤嘱託職員就業規則の制定について 非常勤職員就業規則の制定について 給与規程の変更について 事務局規則の変更について 理事の選任について 監事の選任について 令和2年度事業報告について 令和2年度収入支出決算について

名 称	開催年月日	内 容
評議員会	3年11月29日	居宅ヘルパーステーション運営規程の変更について 居宅介護支援センター運営規程の変更について 令和3年度収入支出補正予算について
	4月3月31日 (書面)	登録ホームヘルパー就業規則の変更について 令和3年度収入支出補正予算について 令和4年度事業計画について 令和4年度収入支出予算について
監査会	3年5月18日	令和2年度事業報告及び令和2年度収入支出決算の 監査について
評議員選任・ 解任委員会	3年6月11日	評議員の選任について
社協支部 三役会	3年10月26日	令和3年度補助金交付について 令和3年度各支部事業進捗状況、今後の予定につい て 地域支え合い活動について グループワーク「自分の地域の生活課題、困り事につ いて考える」 情報交換
歳末たすけあい 配分委員会	3年12月21日	募金実績額の配分について 慰問方法について

イ 調査・広報活動

ホームページ、フェイスブックで随時の情報発信、町広報紙への記事掲載等で、情報提供や活動報告を行い、社協をはじめ、ボランティアセンター、ヘルパーステーションのPRを行いました。

また、民生委員・児童委員のご協力により、ひとり暮らし高齢者等の社会調査(ひとり暮らし高齢者見守り台帳の更新)を実施しました。

ウ 社協支部事業の推進

例年、小学校区単位に組織された5つの社協支部が、それぞれの地域に根ざしたきめ細かな各種福祉事業を実施しています。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各地区で実施している事業は、概ね休止となりました。

- ・ひとり暮らし高齢者見守り活動(5支部)
- ・児童の下校見守り活動(長幡) 他

エ 在宅高齢者等紙オムツ配付事業

町内在住で在宅の紙オムツ利用者(高齢者等)を対象に、民生委員・児童委員のご協力により、10月に紙オムツを配付しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また緊急事態宣言の発令などもあり、配付時期を変更しての実施となりました。(配付人数 127名)

オ アスポート相談支援事業への協力

アスポート相談支援センターと協働し、生活困窮者の相談に応じ、自立に向けての支援を行いました。

カ 福祉サービス利用援助事業 埼玉県日常生活自立支援事業(通称：あんサポ)

判断能力が十分でない方々(認知症高齢者、精神障害者、知的障害者等)が、地域で自立した生活が送れるよう、日常的な金銭管理や重要書類の預かりサービス等を行いました。(実施件数 継続利用 3名)

キ 彩の国あんしんセーフティネット事業の推進

町内福祉施設と協働し、生活困窮に陥った方を救済する事業です。訪問・相談等を行い、経済的援助(食料の現物支給(購入費支援)等)や利用できる制度の紹介等、自立に向けた支援を行っています。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施しました。(実施件数 相談1件)

ク フードバンク事業

生活困窮者に対し緊急的に食料を提供し、当座の生活を維持するための取り組みを行いました。

物資は、フードバンクや彩の国あんしんセーフティネット事業からの提供や歳末たすけあい事業の一環として町社協として食料購入を行い、事業の強化を図りました。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している世帯への食料支援も実施しました。

(食料支援件数 延べ178世帯)

内訳：通常支援・・・延べ133世帯、新型コロナでの支援・・・延べ45世帯

ケ 社協会員会費募集

区長・地区役員・町民等のご協力により、募集期間である8月を中心に社協会員会費募集の推進を行い、多くの皆さまから会費を納入いただきました。

令和3年度社協会員会費実績

区分	賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
普通（件）	1,119	1,037	1,529	2,503	1,405	7,593
特別（件）	6	4	20	25	35	90
会員合計 （件）	1,125	1,041	1,549	2,528	1,440	7,683
会費合計 （円）	565,500	522,500	784,500	1,276,500	737,500	3,886,500
寄付（円）	0	0	0	4,000	600	4,600
総計金額 （円）	565,500	522,500	784,500	1,280,500	738,100	3,891,100
加入率（%）	73	89	74	67	71	72

(2) 地域福祉活動事業

ア ハッピーランチサービス事業

見守り活動の一環として月に1回、町内の65歳以上のひとり暮らし高齢者宅（希望者）へ担当地区の民生委員・児童委員により町内飲食店のお弁当（7月～9月はパンと飲料）を宅配する事業です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、8月及び9月は事業を休止しました。なお、令和3年度をもって、本事業は終了となりました。

（延べ利用者数： 908名、利用者登録数 平均90.8名）

イ ふれあいサロン設置の推進

地域の高齢者や住民等が気軽に集い、交流や健康増進の場を提供するふれあいサロンの設置を地域住民等に呼びかけて積極的に推進し、活動を支援していくことで更なる充実を図っていますが、今年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動休止を余儀なくされるサロンが多数ありました。地域のつながりを絶やさないため、感染対策を徹底し、18サロンのうち、5サロンで事業が実施されました。

ウ 福祉機器等貸出サービス

福祉機器（車イス・杖・シルバーカー等）を必要な個人及び団体に、無料で貸し出しを行いました。

（延べ貸出数：車イス 59台 ・四点杖 1本 ・シルバーカー 2台 ・携帯用点字機 60枚 ）

エ ねたきり高齢者等介護用電動ベッド貸与事業

介護用ベッドが必要な高齢者等に無料で最長 6 ヶ月間介護用電動ベッドの貸与を行いました。(貸与件数 1 件)

オ フードドライブキャンペーン・フードパントリー事業

10 月から 11 月までをキャンペーン期間とし、広く町民や企業に呼びかけ、食品の寄付を募りました。集まった食品等を活用するとともに、ひとり親家庭・新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している世帯を対象とし、パントリー事業（食品等の配布）を行いました。

- ・ 8 月 1 日（日）『フード&グッズパントリー』（24 世帯、延べ 84 名に配布）
- ・ 12 月 19 日（日）『年末フードパントリー』（100 世帯、延べ 337 名に配布）
- ・ フードドライブキャンペーンにて集まった食品…452 点、150kg

また、町民の方が気軽に食品等の寄付が出来るよう、事務所前に寄付 BOX を設置しました。

カ 新型コロナウイルスワクチン接種予約支援事業

予約の電話がなかなか繋がらない、スマートフォンでの予約方法が分からない等、予約の仕方に不安がある方に対し、町の協力を得ながら、接種予約のお手伝いをしました。

- ・ 5 月 11 日（火）・5 月 12 日（水）中央公民館：106 世帯受付
- ・ 6 月 8 日（火）・6 月 9 日（水）上里町役場町民ホール：182 世帯受付
- ・ 7 月 13 日（火）・7 月 14 日（水）上里町役場町民ホール：51 世帯受付
- ・ 8 月 10 日（火）上里町福祉町民センター：44 世帯受付

合計：383 世帯受付

キ 生理用品配布事業

様々な事情により生理用品の用意が困難な方に、1 人 1 パック（20 個入り）の生理用品の窓口配布を行うとともに、町内の小中学校にも配布し、保健室に生理用品の配備を依頼しました。

- ・ 窓口等配布数：延べ 118 人（118 パック）
- ・ 小中学校配布数：145 パック

ク 小型生活家電寄付受付及び払い出し

令和 4 年 2 月 1 日より、家庭で不要となった使用可能な炊飯器等の小型生活家電を募り、困窮し購入が困難な家庭に払い出しを行いました。

- ・ 寄付受付件数…炊飯器：3 点、電子レンジ 4 点、電気ポット：8 点、掃除機：5 点
その他（オーブントースター等）：4 点 計 24 点
- ・ 払い出し件数…炊飯器：2 点、電子レンジ 2 点、電気ポット：2 点、掃除機：2 点

(3) ボランティアセンター事業

ア ボランティア登録

- ・個人(技術・労力・事業協力等) 21名
- ・団体(") 39団体(1,435名)

イ ボランティア問い合わせ・相談・活動協力

- ・受付件数 228件
- ・ボランティア一般 96件
- ・ボランティアグループ支援 48件
- ・福祉教育関係 14件
- ・その他 70件

ウ 寄付

(物品)・個人	38件	(寄付金)・個人	9件
・団体	29件	・団体	18件
・企業	16件	・企業	7件
・寄付BOX	17件		

エ 収集リサイクル活動

町民・団体等のご協力により、使用済切手、使用済みインク、エコキャップ等を収集し、収集団体(福祉施設や関係機関)に送付しました。

オ 傾聴講座

ボランティアや日常生活等に活用できる基礎的な傾聴技術について学び、今後の活動に役立てていただくため、3月25日(金)に講座を開催しました。(受講者数 6名)

カ ボッチャ教室

老若男女、障がいのあるなしにかかわらず一緒に参加できるボッチャを通して、共生社会について考えるきっかけとしてもらうため、3月27日(日)にボッチャ教室を開催しました。(受講者数 8名)

キ 夏のボランティア体験プログラム

気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのため、高校生以上を対象とした介護施設及び保育園でのボランティアの体験プログラムを実施しました。

- ・7月20日(火)～8月6日(金) ※緊急事態宣言発令のため、途中で受入れ中止(参加者数 延べ9名)

ク 小中学校福祉体験教室への協力

総合的な学習の一環として、児童・生徒の福祉への理解や関心を高めてもらうため、今年度は賀美小、七本木小、神保原小、上里北中で開催された福祉体験教室に協力、ボランティアを講師として派遣しました。(派遣回数 6回、参加児童数 265名、派遣者数 34名)

ケ 小・中学生のボランティアスクール

小・中学生を対象に、福祉の体験を通して思いやりの心を育て、実生活においても思いやりの心を持って行動できるように体験学習を開催しました。

今年度は7月28日に絵手紙体験、7月29日にボッチャ体験を行いました。(延べ参加者数 26名)

コ 福祉協力校事業の推進

福祉教育の推進を図るため、町内の小・中学校への福祉活動に対しての助成を行いました。(助成金 小学校 30,000円/校、中学校 40,000円/校)

サ 災害ボランティアセンターの運営

災害時に地域住民やボランティアの力を被災者に繋ぎ、地域の復興に取り組む「災害ボランティアセンター」を円滑に運営できるよう、12月9日(木)、東松山市社協職員を講師に迎え、本会職員向けの研修を行いました。(参加者 12名)

また、3月14日(月)には、児玉郡・本庄市の各社協の協力のもと、実際に水害を想定し、災害ボランティアセンターの立ち上げと運営訓練を行いました。(参加者 20名)

(4) 相談事業

ア 心配ごと相談

毎月第三木曜日、午後1時30分から午後3時まで、上里町コミュニティセンターにおいて、民生委員・児童委員が町民の日常生活の悩みや心配ごとに対して相談にあたる心配ごと相談を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月から9月及び令和4年2月から3月までの計4回は、相談業務を休止としました。(相談件数 4件)

イ 弁護士による無料法律相談

事前予約制で年6回、5月24日(月)、7月21日(水)、9月22日(水)、11月25日(木)、1月28日(金)、3月16日(水)午後2時15分～午後4時15分、弁護士による法律に関する相談を受け付け、問題解決に向けた指導助言を行いました。(相談件数 23件)

(5) 資金貸付事業

上里町社会福祉協議会福祉資金貸付事業：低所得世帯の生活援助のため、福祉資金の貸付相談を行いました。

(相談件数： 9 件、うち貸付件数 9 件、貸付金額 310,000 円)

(6) 愛の福祉基金事業

国が提唱する地域福祉基金の趣旨を踏まえ、高齢者社会に対応するための基金として積み立てしているものです。

この基金運用から生ずる運用益については、他の補助事業対象とならない在宅福祉等の普及・向上・健康生きがづくり事業、ボランティア活動の活性化等のため、社協の事業の実状に即して運用することが出来るものです。

(令和3年度積立額：10万円)

(7) 生活福祉資金貸付事業

埼玉県社会福祉協議会生活福祉資金貸付制度

新型コロナウイルス感染拡大の影響による減収世帯への緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金特例貸付の申請受付を行いました。

緊急小口資金 (上限：20万円)

申請件数：88件(うち外国人27件、うち日本人61件)

追加申請件数：1件(うち外国人0件、うち日本人1件)

総合支援資金 (上限：1人世帯15万円×3ヶ月、2人以上世帯20万円×3ヶ月)

申請件数：93件(うち外国人22件、うち日本人71件)

総合支援資金(延長)(上限： //) ※令和3年6月末終了

申請件数：42件(うち外国人14件、うち日本人28件)

総合支援資金(再貸付)(上限： //) ※令和3年12月末終了

申請件数：104件(うち外国人29件、うち日本人75件)

(問い合わせ件数 81件、相談件数 301件、申請件数 328件)

(8) 高齢者等支え合いサービス事業(高齢者等生活応援隊)

上里町と委託契約を締結し、買い物、掃除、調理、庭の手入れ等の日常生活上の援助を希望するひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、協力会員を派遣する事業を行いました。

- ・通常のサービス：1時間あたり商品券1枚
- ・短時間サービス：10分以内の作業を同月内5回までの利用で商品券2枚

※商品券[商工会が発行する商品券(額面500円)]

(延べ利用時間 522時間、延べ利用者数 454名)

※利用会員登録者数 92名、協力会員登録者数 59名

(9) ファミリー・サポート・センター事業

上里町と委託契約を締結し、子育て中の保護者の日常生活を支援するため、子どもの預かりや送迎等のサービスを行うセンターの運営を行いました。11月には提供会員等を対象に、普通救命講習等の研修会を開催しました。(参加者 5名)

- ・対象：小学校6年生まで
- ・利用料：平日午前7時～午後7時 700円/時間
平日上記以外の時間 800円/時間
土日祝日及び年末年始 800円/時間

(活動件数 352回、活動時間 468時間)

※依頼会員 40名、提供会員 22名、両方会員 4名

(10) 生活支援体制整備事業

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくため、生活支援コーディネーターを中心に、モデル地区である賀美小地区において、地域支え合いの仕組みづくりを推進しました。5月には、ちょっとした困りごとを住民同士で支え合う組織「賀美安心サポートの会」が発足、9月より活動を開始しました。

この取り組みを他の小学校区にも広げていけるよう、2月に社協神保原支部構成員を対象に意見交換会を設けましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、アンケート形式にてご意見を伺いました。

また、事業を進めるにあたり、日本社会事業大学菱沼先生に電話・メールによる相談、および1月5日、3月24日の計2回来所いただき、アドバイスをいただきました。

(11) 老人居宅介護等事業

介護保険法に基づき、要介護、要支援及び事業対象者の認定を受けた利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介護や日常生活全般の援助を行うヘルパーステーションの運営を行いました。

ア 要介護(介護給付)

平均利用者数 20.4名、延べ訪問件数 2,065件、延べサービス時間 5,339時間

イ 要支援・事業対象者(総合事業)

平均利用者数 4.4名、延べ訪問件数 336件、延べサービス時間 336時間

(12) 居宅介護支援事業

在宅介護や在宅生活に関する相談援助、居宅サービス計画(ケアプラン等)の作成、介護サービス提供事業者との連絡調整等を行う居宅介護支援センターの運営を行いました。また、今年度は、介護予防把握事業を町より受託し、支援を有する高齢者等を早期発見するため、個別訪問による実態把握をしました。

ア ケアプラン

延べ作成件数 614件、利用者実人数 75名

イ 介護予防ケアプラン・ケアマネジメント業務

延べ作成件数 228 件、利用者実人数 25 名

ウ 介護予防把握事業

延べ訪問件数 31 件

(13) 障害福祉サービス事業

障害者自立支援法に基づき、居宅介護の受給資格を認定された利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介助や家事援助及び生活等に関する相談並びに助言その他の必要な日常生活上の支援を行いました。

利用者 14 名、延べ訪問件数 2,008 件、延べサービス時間 1,965 時間

(14) 日赤埼玉県支部上里町分区事業

ア 日赤活動資金募集の推進

区長・地区役員・町民等のご協力により、募集期間である 5 月を中心に日赤活動資金募集の推進を行い、多くの皆さまから資金(会費)を納入いただきました。

令和 3 年度日赤活動資金募集実績額

(単位：円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
513,200	173,900	635,000	670,200	680,700	2,673,000

イ 赤十字奉仕団活動の協力

赤十字防災セミナーの開催

・災害エスノグラフィーの実施

大規模災害の被災者の体験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解するため、災害エスノグラフィーを実施しました。

(参加人数 17 名)

(15) 埼玉県共同募金会上里町支会事業

ア 赤い羽根共同募金

区長・地区役員・町民等のご協力により、募集期間である 10 月を中心に赤い羽根募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただきました。

令和 3 年度共同募金(赤い羽根募金)実績額

(単位：円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
503,473	302,900	659,815	571,780	584,910	2,622,878

イ 歳末たすけあい募金(歳末たすけあい運動)

新たな年を迎える時期に、町民の福祉向上を目指し、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、関係機関と協働し、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、各種福祉事業に取り組みました。

この歳末たすけあい運動の財源とするため、区長・地区役員・町民等のご協力により、運動時期である 12 月を中心に歳末たすけあい募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただきました。

令和 3 年度共同募金(歳末たすけあい募金)実績額 (単位：円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
440,100	337,600	580,050	581,400	523,082	2,462,232

ウ 共同募金配分金事業

区分	慰问数	内容等	配分金額
困窮世帯	44 世帯	慰问金配付(10,000 円/世帯 家族1名増につき 3,000 円増額)	509,000 円
在宅高齢者等	136 人	紙オムツ等配付	736,505 円
町内福祉施設	26 施設	みかん配付(61 箱)	217,404 円
生活困窮者支援用食糧購入		米・缶詰等長期保存可能食品	148,453 円
災害ボランティアセンター用機器購入		ベルト付きポール 12 本	87,780 円
		背負式救出・救助資機材セット 2 組	80,256 円
		非常用防災用マグネシウム電池「MgBOX」5 個	110,000 円
社協だより発行代		町民への事業報告・収入報告等	60,000 円
合計			1,949,398 円

※2,462,232 円－1,949,398 円＝512,834 円

(募金実績額) (配分金額) (残額)

残額 512,834 円は、埼玉県共同募金会へ送金し、上里町分として次年度へ繰り越し。

令和3年度事業報告書の附属明細書

令和3年度事業報告書の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。